

令和6年度

事業計画書



ツーリズムとよや
TOURISM TOYOTA

目 次

令和6年度 事業計画

はじめに 3

【公益事業】

1 地域団体等連携事業 4

2 調査・戦略策定事業 5

3 観光資源開発事業 6

4 プロモーション事業 7

5 受入環境整備事業 10

6 法人運営及び組織力強化 11

【収益事業】

1 観光宣伝物販事業 11

2 旅行商品販売事業 12

令和6年度 収支予算（案）

令和6年度 収支予算書
（損益ベース） 16

資金調達及び設備投資 18

はじめに

令和6年度は、「ツーリズムとよた 短期経営計画2023-2024」の最終年となり、計画で掲げた目標値を達成するため、事業の着実な遂行が求められる年になります。

また、訪日外国人観光客数が急激な回復を見せている中で、本市への誘客において豊田の魅力を発信し続けるとともに受入環境の整備に取り組むことが必要です。

令和6年度の新たな話題としては、4月に豊田市博物館がオープンし、新しい観光資源が誕生します。昨今の歴史ブームにあわせて博物館を観光拠点として、展示内容にあわせたバスツアーを実施するなど、新しい観光商品を造成していきます。

また、11月には豊田市主催の「WRC フォーラムエイト・ラリージャパン2024」が昨年に続いて開催されます。ツーリズムとよたでは、引き続き宿泊観戦プランを企画するとともに、“クルマのまち・豊田”ならではのラリーで盛り上がることのできるコンテンツを用意し、競技期間中に限らず一年を通してラリーファンの来訪を促進します。

高齢や障がい等の有無に関わらず、誰もが安心して快適に旅行できる豊田市を目指し、昨年度から実施しているユニバーサルツーリズムの普及と啓発を進めていきます。

外国人観光客に人気の高いジブリパークでは、今年3月に新エリアがオープンしたことに伴います観光客の増加が見込まれるため、本市への誘客を図り、インバウンドの取り込みを図っていきます。

インバウンドの取り込みにおいては、引き続きタイ、台湾に現地での広報・営業代行「セールス・レップ」を設置し、外国人の興味関心を引く観光商品の開発・周知を図るとともに、個人旅行（FIT）向けの情報発信に取り組んでいきます。

昨年度から実施している台湾からの訪日ゴルフ団体ツアーの誘致を進め、中部国際空港（セントレア）から近いゴルフに適したまちというブランドを本市に定着させるため、継続して取り組んでいきます。

また、2026年には愛知県内において「第20回アジア競技大会」及び「第5回アジアパラ競技大会」が開催され、本市でも複数の競技の開催が検討されておりアジアを中心に多くの海外来訪客が見込まれることから、市内に在住する外国人市民コミュニティ等と連携を図りながら観光施設等の受入環境の整備に取り組むことで、“住んでよし、訪れてよしの観光まちづくり”の実現を目指します。

上記の様々な取組に対する具体的な誘客の促進策として、市内宿泊と周遊するバスツアーについて旅行会社等への助成制度を新たに開始していきます。

令和4年6月から運用を開始している観光CRM「いこまいる とよた」の会員数は、当初の予定を大きく超え1万2千人以上の登録をしていただいています。今後は登録者の趣味嗜好や利用履歴等のデータ活用と情報発信の強化により、更なるサービスの向上に努めることで、豊田市内の観光施設等を周遊するリピーターの確保につなげてい

きます。

また、今年 3 月に「登録 DMO」として正式に承認される見込であるため、本市における観光まちづくりの調整役としての役割を果たしていきます。

そのため、具体的な取組方針となる新たな経営計画の策定を行います。

以上の取組を着実に進めることで、主要な目標指標値である市内観光入込客数と観光消費額の拡大を図り、「観光の新たな流れを生み出し、将来にわたり選ばれるまち」の実現を目指します。

【公益事業】

1 地域団体等連携事業

地区観光協会を始め、本市の観光振興を目指す関係者や団体等をパートナーとして情報共有や意見交換を図り、戦略を立てて効果的な事業の展開につなげます。

各種協議会等に参画し、豊田市博物館の開館や WRC 開催などの好機を活かした旅行者の誘致及び受入体制の強化を図ります。

また、本市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携し、ファン等に対し本市の魅力を伝えていきます。

(1) DMO 推進会議の実施 **重点取組**

登録 DMO として承認される見込であることを受けて、当法人の会員事業者や DMO 連携団体が、効果的に事業やプロモーションを進められるよう、各種アンケートの調査・分析結果やデジタルマーケティングなどから得たデータを活かし、観光動向を共有、意見交換できる会議を定期に開催します。

(2) 協議会等への参画 **重点取組**

豊田市博物館の開館、豊田市主催の WRC 開催など、国内外から本市に注目が高まるこの好機を活かすため、各種協議会等に参画し、魅力ある観光商品の造成や効果的な情報発信につなげます。

<主な協議会等>

【豊田市】

- ・豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会
- ・TGR ラリーチャレンジ in 豊田イベント実行委員会
- ・山間部における各地区（支所ごと）WRC 関係会議
- ・豊田市ジブリパーク来訪者おもてなし協議会
- ・とよた元気プロジェクト実行委員会
- ・豊田市ミュージアム連携会議

- ・豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会
- 【愛知県】
- ・あいちの歴史観光推進協議会

(3) プロスポーツチームとの連携

本市でホーム戦を行う名古屋グランパス、トヨタヴェルブリッツ、シーホース三河と連携し、コラボ商品の制作や会員事業者が試合会場等で出店できる機会の調整などを進めます。

- (主な取組) ・「いこまいる とよた」を活用した来場ポイントの付与やプレゼント
- ・チームとのコラボ商品の制作



とよたご当地グルメブース

2 調査・戦略策定事業

国内外の旅行者の観光動向やニーズ、各種事業の成果を把握する調査・分析を行い、その結果について会員事業者をはじめ連携団体などと共有します。

また、「いこまいる とよた」のデータ分析のほか、GPS などデジタル技術の活用の拡大に向けた研究・情報収集を継続し、観光客のニーズに即した旅行商品の造成やサービスの提供につなげるとともに、これらの取組を踏まえて次期経営計画を策定します。

(1) 観光マーケティング調査

本市の観光の現状を調査・分析した結果を活用して関係団体が行う事業や取組の効果を高められるよう情報提供や改善提案を行います。

<調査事業>

- ・インターネット調査、観光地来訪者アンケート調査、宿泊動向調査など
- ・当法人の主催事業及び市内の主な行催事の効果検証に必要な調査

<調査報告>

- ・会員事業者等の取組の参考となるよう、調査結果等を定期的に共有・公開
- ・地区ごとの観光動向を伝え、意見交換など観光戦略に生かす報告会などを開催



マーケティング調査結果の地区報告会

(2) 次期経営計画の策定

令和6年度で計画期間が終了する短期経営計画 2023-2024 を総括した上で、新たな取組方針となる経営計画を策定します。

3 観光資源開発事業

多様な地域資源の掘り起こしと磨き上げに引き続き努め、顧客ニーズに基づく観光商品の開発を進めます。また、観光客の趣味嗜好に応じ、テーマごとに地域資源を組み合わせ、付加価値の高い観光コンテンツを提供します。

(1) 体験コンテンツの磨き上げ及び販売 戦略Ⅰ-I

自然、歴史・文化、ものづくり産業、グルメなど、本市の多様な地域資源を素材とした体験コンテンツについて、民間の体験予約WEBサイトを活用し、効果的なPR・販売を支援します。

また、体験コンテンツそのものの付加価値を高め、団体又は個人ツアー商品として旅行会社に提案し、販売につなげます。

加えて、体験コンテンツには、昨年度から愛知県が推進している「ラーケーションの日」の活動例として紹介すべき魅力的なコンテンツが多いため、特に市内の親子に向けたPRを積極的に行います。



(2) 市内宿泊・周遊につながる観光コンテンツの開発 戦略Ⅰ-II

宿泊施設や交通事業者との連携を深め、市内宿泊や周遊につながる観光コンテンツの開発を進めます。連携にあたっては、二次交通などの課題を解決するバスツアーの造成やナイトコンテンツの造成による市内宿泊への誘導など、市内観光消費の拡大や宿泊機会の創出を進めます。また、市内宿泊や周遊につながる旅行社等によるバスツアーの造成促進のために、新たな助成制度を開始します。

その他にも、誰もが安心して快適に旅行できるまちを目指し、宿泊施設とも連携しながらユニバーサルツーリズムの普及を促進します。

(取組例)



豊田市内宿泊ユニバーサル
検証ツアー



松平郷天下泰平の竹あかり

(3) 大規模イベント等を契機とした観光商品の造成と受入環境の整備

戦略Ⅰ-Ⅲ

国内外から注目される大規模イベント等を契機とした観光商品を造成と受入環境の整備に取り組みます。

4月に開館する豊田市博物館では、新たな歴史観光の拠点として企画展示等と関連する市内周遊バスツアーを実施するなど、新しい観光商品を造成していきます。

また「WRC フォーラムエイト・ラリージャパン 2024」においては、宿泊観戦プランを継続して企画するとともに、“クルマのまち・豊田”ならではのラリーで一年を通して盛り上がることのできるコンテンツの開発を目指します。

さらに、2026年に開催される「第20回アジア競技大会」及び「第5回アジアパラ競技大会」に向けた準備も合わせて進めます。アジアを中心に多くの海外来訪客が見込まれることから、市内に在住する外国人市民コミュニティ等と連携を図りながら観光施設等における受入環境の整備に取り組んでいきます。

(取組例)



とよたの魅力を知る日帰りツアー

4 プロモーション事業

市内への誘客やインバウンドの誘客に向けて、本市の観光地等の認知向上や観光イメージの浸透を図る各種プロモーションを行います。

また、「いこまいる とよた」によるデジタルマーケティングを進め、顧客の趣味嗜好やサービス利用の傾向に基づく戦略的な情報発信や取組に活かすことで、本市への誘客増加や周遊促進、滞在時間の延伸につなげます。

(1) 「いこまいる とよた」の活用 戦略Ⅱ-I

観光CRM※「いこまいる とよた」を活用し、登録者（いこまいる会員）一人ひとりの趣味嗜好に合わせた情報を届けるとともに、観光ポイント「いこまいる」を運用します。

観光ポイント「いこまいる」が貯まるデジタルスタンプラリーなどを企画・実施することで、市内周遊やリピート来訪を促し、本市にまた来たいと思っただけ「ファンづくり」を進めます。

<主な取組>

■ためる

観光地等でのチェックイン
各種イベントでのチェックイン
デジタルスタンプラリー など

■つかう

登録店舗等で使える割引クーポンの発行
地域の特産品との交換 など



「いこまいる とよた」の紹介バナー



デジタルスタンプラリーの例

(2) 国内誘客プロモーション事業

豊田市博物館の開館を契機とし、本市への来訪者が多く見込まれる好機を活かすため、デジタル・アナログの両面から本市の観光の魅力を伝える情報発信を進めます。

ア 国内宣伝事業

(ア) 「旅アト」情報の共有・拡散の促進 **戦略Ⅱ－Ⅱ**

インスタグラムキャンペーン等によりハッシュタグ「#funtoyota」の認知を高めるなど、本市への来訪者による思い出の共有・拡散を促すプロモーションや取組を進めます。

(イ) 旅行会社及びメディア等へのプロモーション

旅行会社、メディア等に本市の観光資源を効果的に PR するため、当法人主催による商談会や愛知県等が主催する商談会、出展事業へ積極的に参加します。

また、旅行会社等に対して旬の観光スポット等を紹介するメールマガジンの配信などにより、季節ごとの多様な旅行商品の造成・販売を促します。

(ウ) 消費者への直接プロモーション

市内外で行われる観光イベント等に参加し、本市の観光の魅力を発信します。

(エ) 公共交通と連携したプロモーション

名古屋鉄道株式会社等の交通事業者と連携し、交通広告等を活用した観光プロモーションを展開します。

(取組例)



名鉄乗車券袋

イ 情報発信事業

(ア) GPS 機能を活用したデジタルプロモーション **戦略Ⅱ－Ⅱ**

「旅ナカ」において効果的に情報を届けて消費を促すため、「いこまいるとよた」のチェックインによりスマートフォンを開く契機などを逃さず、現在地周辺の観光施設、飲食店等の情報発信を強化します。

(イ) 旬な情報の発信力の強化

ツーリズムとよたホームページにおいて、季節ごとのコラムや動画などにより、取材時の施設スタッフとのやり取りの様子や取材者が感じたリアルな体験を発信していきます。

また、「WE LOVE とよた」の醸成につながる地元ならではの情報や、旅行者を引き付ける店舗・イベントなどの情報を発信し、誘客につなげます。

ウ メディア活用事業

各種取組のターゲットに合わせ、雑誌、WEB メディアなど効果的な PR 媒体を選択して情報発信します。

エ 誘客宣伝物等の作成及び活用

- a 観光パンフレット等の増刷及び配布
- b オリジナルノベルティグッズの作成及び配布

(3) 海外誘客プロモーション事業 **戦略Ⅲ**

タイ、台湾、香港をメインターゲットとする国や地域と位置づけ、タイ及び台湾では海外現地での広報・営業代行（セールス・レップ）を継続し、香港では SNS を中心に個人旅行者（FIT）向けの情報発信を行います。

また、多言語での SNS 発信及びホームページ掲載における情報の鮮度・内容の充実を図ります。

ア 現地での広報・営業代行（セールス・レップ）【タイ・台湾】

国ごとの趣味嗜好や顧客ニーズをヒアリングしてきた内容に基づき、開発した本市の観光コンテンツをターゲットとなる現地旅行会社や FIT へ向け、現地セールス及び FIT フェアへの出展をレップの支援により実施します。

また、具体的な海外誘客につながるための検証と調査も合わせて実施します。

イ ゴルフツーリズムの推進【台湾】

市内のゴルフ場の協力を得て昨年度から実施しているゴルフツーリズムを継続して実施します。現地旅行会社等のツアー造成を促進するためツアー代の一部助成を行い、レップとともに現地のゴルフ専門旅行会社へ直接営業も実施します。



ウ FIT フェアの出展による FIT 向けバスツアーの販売【タイ】

タイ国内で最大規模の旅行博である FIT フェアに出展し、豊田市の観光 PR を実施します。またその場で、インバウンド FIT 向けに造成する香嵐溪・小原バスツアーの現地販売を実施し、実際の誘客を目指します。

エ デジタルプロモーション

- a 多言語ホームページ「VISIT TOYOTA CITY」の掲載情報の充実
- b Facebook、Instagram による情報発信
- c WEB 広告を活用した「VISIT TOYOTA CITY」への誘導
- d 日本政府観光局（JNTO）等と連携した情報発信

オ 外国人市民等との連携による情報発信

市内に在住する外国人市民コミュニティ等と連携を図りながら、海外に向けた情報発信や外国人観光客の受入環境の整備を図ります。

5 受入環境整備事業

市内の観光関連事業者や観光振興に取り組む事業者・団体等のスキルアップや将来にわたる観光関連人材の確保につながる支援等の取組を行います。

(1) 観光関連事業者向けセミナーの開催

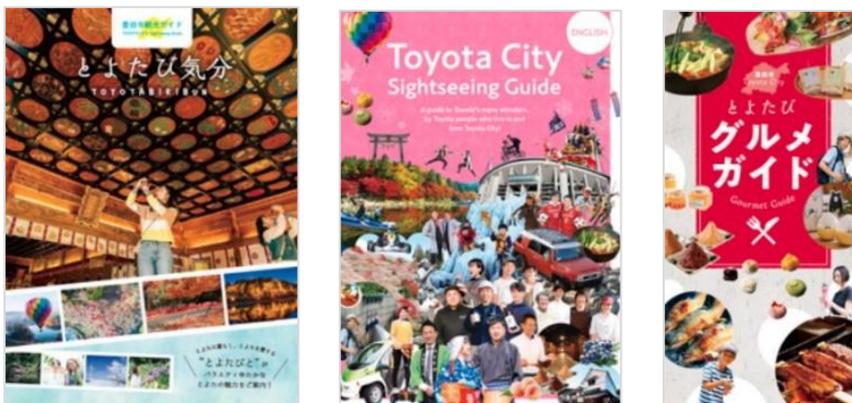
観光客の受入や情報発信など知識の習得を目的としたセミナー等を開催します。

(2) 会員事業者の販路拡大支援等

当法人ホームページや観光パンフレット「とよたび気分」による PR を行います。

<主な取組>

- ・とよたび気分、グルメガイド、ホームページなどによる会員情報の PR
- ・インスタグラムなど SNS を活用した情報の拡散、販路拡大サポート
- ・体験コンテンツの磨き上げに向けた取組内容の提案や他事業者とのマッチング



各種観光パンフレット（とよたび気分ほか）

(3) 会員等への情報提供・共有

当法人や官公庁等が実施した調査結果など、参考になる各種情報を提供します。

(4) 観光関連人材の育成支援

大学及び関係団体等と連携して、主に市内に在住する外国人を対象にしたキャリア支援プログラムの中で、将来にわたる観光関連人材の育成を支援し、観光関連事業者等の人材確保にもつなげます。

6 法人運営及び組織力強化

信頼性が高く、透明性のある法人運営を行うとともに、継続した収益事業の発案・実施や財務会計、データ収集・分析、マーケティングの活用スキルなど専門性の高い職員の育成に努め、地域の観光振興に貢献できる組織を目指します。

(1) 定時総会、理事会の開催

- ・定時総会 年1回（令和6年6月）
- ・理事会（通常・臨時） 年3回程度（令和6年5月、9月、令和7年3月）

(2) 会員事業者の確保

当法人の理念や活動に賛同し、共に観光振興に取り組む会員事業者の増加に努め、観光振興の推進力を高めます。

(3) 職員の専門性向上

公益財団法人協会が実施する会計セミナー、観光庁が主催するDMOの運営に係るセミナーに参加するなど、財務会計やマーケティングに必要な能力を伸ばします。

【収益事業】

1 観光宣伝物販事業

本市の多様な地域資源を掘り起し、その魅力を生かした商品開発を進め、当法人の収益の確保を図りながら、さらにその資源の価値を高めていきます。

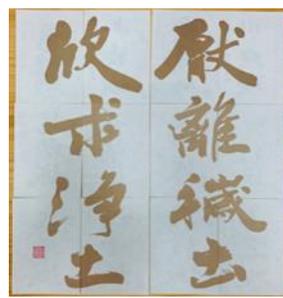
(1) 豊田御城印プロジェクトの推進

令和4年度から実施している、御城印でお城（城跡）を巡り楽しむことをコンセプトとした「豊田御城印プロジェクト 御城印で豊田お城巡り」を継続し、市全域での周遊を促します。

＜主な取組＞

- ・関係者と連携した新たな御城印の制作
- ・各地区観光協会等への御城印制作支援

新御城印：



全12城(表)

全12城(裏)

2 旅行商品販売事業 **戦略 I-III**

WRCをはじめとしたスポーツイベントや豊田市博物館をはじめとした公共施設は、国内外から注目を集め大規模な人の動きを生む本市独自の観光資源であり、その魅力を生かした旅行商品を企画・販売します。

(1) 2024WRC 宿泊観戦プランの実施

令和4年度から実施しているWRCの観戦者に向けた宿泊観戦プランを継続するとともに、一年を通してラリーファンが楽しめるコンテンツを用意し、市内来訪を促進します。

<主な取組>

- ・2024WRC 宿泊観戦プランの企画・販売
- ・競技の前後期間の来訪促進策

(2) (仮) 豊田の歴史・文化を楽しむバスツアーの実施

豊田市博物館の開館を契機として、市内の歴史や文化に関する施設を拠点としたバスツアーを実施し、施設への来場を市内周遊に生かすとともに豊田の魅力を深める機会を創出します。

<主な取組>

- ・城跡等の歴史・文化資源を活用したバスツアーの実施
- ・とよはくパートナーとしてイベント実施



2023年WRC 宿泊観戦プラン



千田嘉博教授と歩く
市場城跡見学バスツアー